

# MAIL MAGAZINE

メールマガジン

## インドも高齢化社会？

### JSC 貿易部ニュース インド編

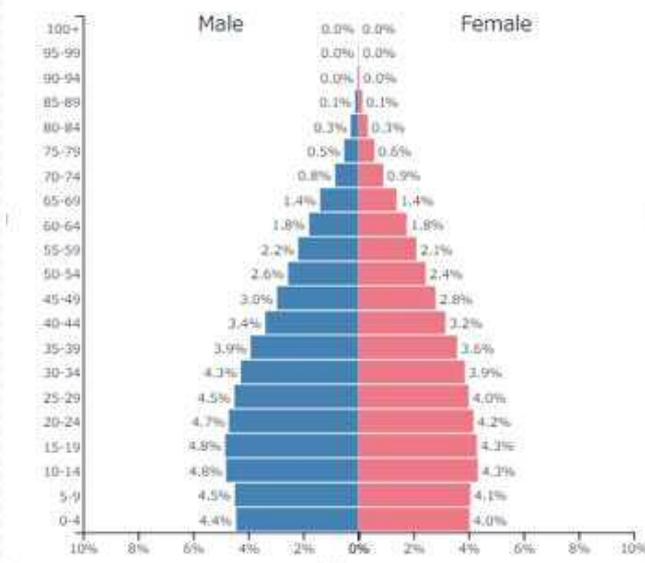
暦の上では春とはいえ、まだまだ寒い日が続きます。皆様、如何お過ごしでしょうか。

さて昨年日本では、65歳以上の方の人口に占める割合が過去最高 29%に達し、3640万人を超えたというニュースが報道されていました。65歳以上の方の割合が30%を超えるのはもう間近のところに来ているようです。割合だけで言えば、なんと世界一の高齢化社会だそうです。

一方、インドでは2020年のデータで、65歳以上の方の占める割合は6.75%程度でした。日本の29%と比較すると割合こそ低いですが、総人口から算出すると、なんと9000万人以上の高齢者がいることになります。

India ▼  
2020

Population: 1,380,004,385



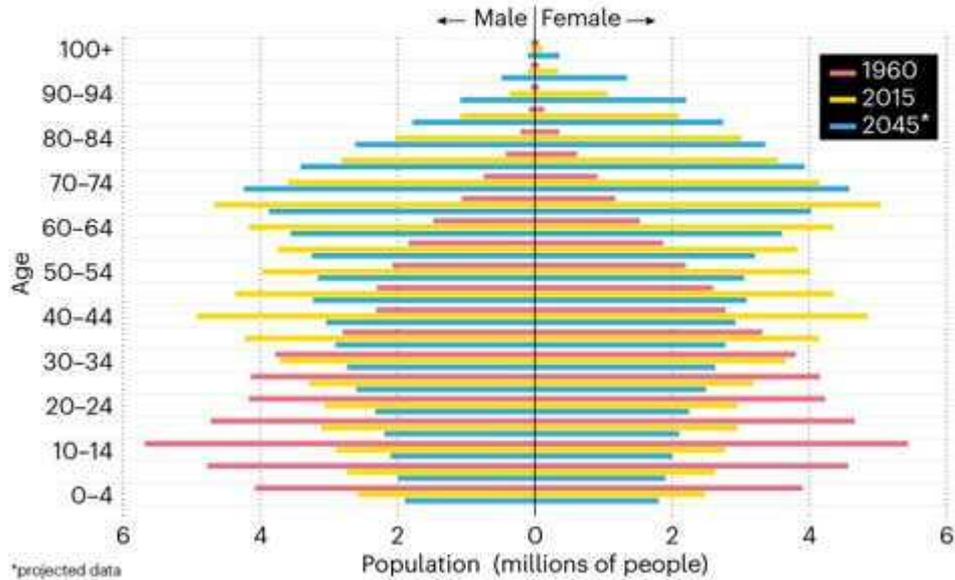
グラフはインドの年齢別人口比率です。

すでに9000万人の高齢者を抱えるインドですが、近年都市部では医療技術の進歩を背景に死亡率の低下が見られます。逆に、出生数はグラフからも読み取れるように減少に転じています。このようなことから、いずれ訪れる高齢化社会に備え、政府としても色々と対策を立てているようです。

インドでは、日本が人口に占める高齢者の割合が世界一となっていることもあり、「インドは日本の高齢者ケアをお手本にすべし」といった報道も見られます。

## JAPAN'S SUPER-AGED SOCIETY

Japan's demographics are changing rapidly, creating a top-heavy pyramid with more older people than younger people.



Source: Statistics Dashboard, Government of Japan

(グラフは日本の年齢別人口比率です)

報道では見習うべき点として、日本の介護保険制度やデイサービスの充実度を挙げていました。介護者の負担が減ることによる労働人口の確保の利点についても言及されていました。

今後、これまで人類が経験したことない高齢化社会に突入していく日本ですが、その対策は、これから高齢化が進むインドや諸外国にとっては大いに参考になるのでしょうか。

インドのパートナーさんの一人は、現在 95 歳の義理のお父さんの介護をされています。コロナ禍ということもあり、感染対策に気を使いながらお義父さんの自宅まで行き、お世話をされています。

彼曰く、「インドでは日本のように年金制度も充実しておらず、老人ホームや介護施設も少ない。あっても非常に高額なので、家族内で介護することが多いのですよ」とのこと。

介護含め、今後の高齢化社会の在り方においては、もちろん正解は一つではないでしょうし、それぞれの国や家庭で状況は異なると思いますが、智慧を出し合いより良い方向に進んで行けばいいですね！

## さて今月の石のお話です！

昨年 11 月号のインドメルマガでは、インドの電力制限の話題とともに、インド産の銘石「カラハリ」のご紹介をさせていただきました。

[202111india.pdf \(japan-stone-center.jp\)](#)

11 月、インドでは三大祭の一つでもあるヒンズー教の新年祭「ディワリ」があり、採掘作業がなかなか進みませんでした。その後には豪雨、そしてオミクロン株の流行、コンテナ不足とトラブルが頻発し、原石の採掘や出荷作業がスムーズにいきませんでした。

1 月半ばからは、「ポンガル」と呼ばれる収穫祭もあり、またまた採掘がストップ。本当に頭の痛いことばかりでした…

しかし、「禍福は糾える縄の如し」とのことわざもありますが、良い事、悪い事が、様々あったこの三ヶ月間でしたが、ようやくカラハリ原石の出港の手配が整いました！！



細目の石の特質として吸水は少しありますが、この青味と目の細さ、そして硬さといい、本当にいい石です！

丁場も引き続き継続して採掘しています。

ずっとカラハリをお使いいただいている皆様も、昔使っていたという皆様も、使ったことはないけど少し興味があるという皆様も、是非一度、お試しくださいます！

原石は3月には中国のパートナー工場に到着予定でございます！

では、今月も最後まで読んで頂きありがとうございます。

寒さの中にも春の兆しを感じられる昨今、皆様のご健勝、ご健康を心よりお祈りいたしております。

2022/02/01